インフルエンザ(2026 年第 46 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 46 週の定点当たり報告数は 11.94(患者報告数 44,563)となり、前週の定点当たり報告数 11.00 よりも増加した。都道府県別では北海道(30.63)、宮城県(24.20)、福島県(23.02)、岩手県(22.83)、青森県(20.88)、山形県(20.54)、新潟県(19.24)、長野県(18.46)、秋田県(18.44)、山梨県(16.42)、佐賀県(15.79)、長崎県(15.20)、埼玉県(15.10)の順となった。全国 47 都道府県中、38 都道府県では前週の報告数よりも増加し、9 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 1,335 例であり、前週(1,100 例)から増加した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(29 例)、1～4 歳(133 例)、5～9 歳(158 例)、10 代(58 例)、20 代(10 例)、30 代(20 例)、40 代(27 例)、50 代(57 例)、60 代(127 例)、70 代(252 例)、80 歳以上(464 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 42 週～2026 年第 46 週)では、AH1pdm09 が 193 件(96%)、AH3 亜型が 5 件(2%)、B 型が 3 件(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html)を参照されたい。